| 春季特別企画 |

2020.3/20（金・祝）－4/12（日）
休館日＝3/23

なんのいろ？
どんないろ？

●みんなであそぶプログラム

毎日実施 10:00−16:00（11:30−12:30はお休み）
4/7以降の平日は12:30−16:00

大人から子どもまでみんなであそぶプログラムです。

「土・いろ・もよう」
２色の粘土をまぜて模様を楽しみます。

「くろのいろ」
黒が何色かを確かめます。

「いろ刑事」
色を手掛かりに館内を捜索します。

「コレってなにいろ？」
新しい色の名前を考えます。

「ひかり・いろ・カタチ」
色の重なりや光が透ける様子を楽しみます。
協力：定國伸吾さん（静岡理工科大学准教授）

●特別プログラム

3/21（土）、22（日）
10:30−11:30、13:00−15:30
対象：５歳以上の子どもと大人
（5〜6歳は大人と参加してください。）

「いろたたたたき」
身近な植物の「いろとかたち」を
トンカチでトントンたたいて写します。
※アトリエhitotemaさんによる
あそびのプログラムです。

●あつまるあそぶプログラム

土・日・祝日実施 14:00−15:00、
30分前受付、先着順定員あり

「カラリンピック」
色を使ったダイナミックなあそびです。

●たべるあそぶプログラム

日曜日実施 11:00−12:00、
30分前受付、抽選６組

「しょく×しょく」
色をテーマにした食べるあそびです。

○詳しくは、館内の当日案内をご覧ください。プログラムは予告なく変更することがあります。

愛知県児童総合センター

愛知県児童総合センターは「あそび」をテーマにした県立大型児童館です。1996年の開館以来、子どもと大人がともに、心と身体をフルに活用して遊ぶことで、新しい気づきが実感できる時間と空間を提供しています。また、遊具やあそびのプログラム開発、よりよい児童環境のためのネットワークづくり、セミナー・研修、調査・資料収集、移動児童館など多岐にわたる活動を行っています。

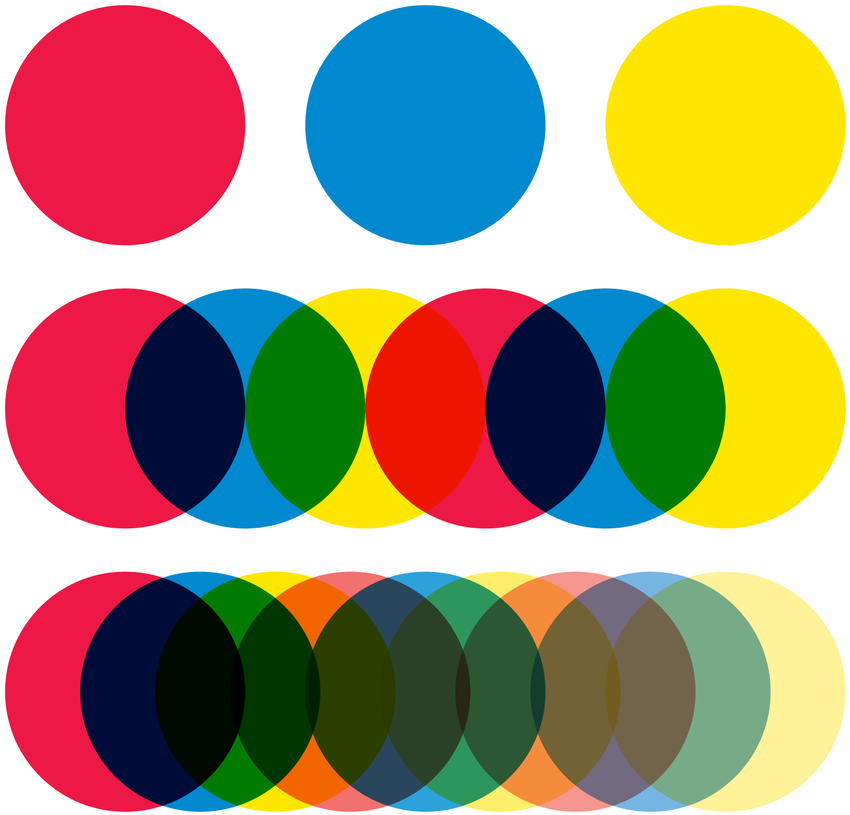
〒480-1342
愛知県長久手市茨ケ廻間乙1533-1
TEL　0561-63-1110
E-mail　info@acc-aichi.org
https://www.acc-aichi.org/

開館時間＝9：00－17：00
入場料＝中学生以下無料、その他300円

3月の休館日＝2、9、16、23日
4月の休館日＝13、20、27日
5月の休館日＝7、11、18、25日
6月の休館日＝1、8、15、22、29日

公共交通機関で…　地下鉄東山線「藤が丘」、愛知環状鉄道「八草」から リニモ「愛・地球博記念公園」駅下車
車で…　東名高速・日進JCT経由名古屋瀬戸道路長久手ICから 足助方面すぐ（愛・地球博記念公園 北駐車場利用）

編集・発行／愛知県児童総合センター（公益財団法人愛知公園協会）



わたしたちの世界にある「色」は、目が区別できるだけでも数百万色あると言われています。「赤いリンゴ」も、1つ1つ微妙に違う赤であることがわかります。名前がついている色は数千色あると言われていますが、「寒い日のほっぺた色」とか「どんよりした気持ち色」とか、思い出や気持ちからなんとなくつける自分だけの色もたくさんあって、世界中の人で色を集めたら何億万色も見つかりそうです。こんなふうに世界にはたくさんの色がありますが、どんな色もたった3つの色からできています。色の三原色と呼ばれる「赤・青・黄」で、赤と青が混ざると紫、青と黄で緑、といったようにこの３色からさまざまな色が生まれます。「黒」と思っていても、実は３つの色が隠れているかもしれません。花が咲きはじめ、緑が生き生きとしてくる春。トーンダウンしていた冬から一転、色鮮やかな世界が広がります。そんな色があふれる季節に、植物や土の色を見つけたり、色に新しい名前をつけたり、色を使ったダイナミックなあそびをしたり、たくさんのあそびに参加して、色を体中で感じて楽しみましょう！

なんのいろ？
どんないろ？

2020.3/20（金・祝）－4/12（日）
愛知県児童総合センター（愛・地球博記念公園内）
時間＝10：00−16：00（開館時間は9:00−17:00）休館日＝3/23
入場料＝中学生以下無料、その他300円
主催＝愛知県児童総合センター（公益財団法人愛知公園協会）

Aichi Children's Center

子どもとおとな、ドキドキ発見！

ACC
Aichi Children's Center
レター

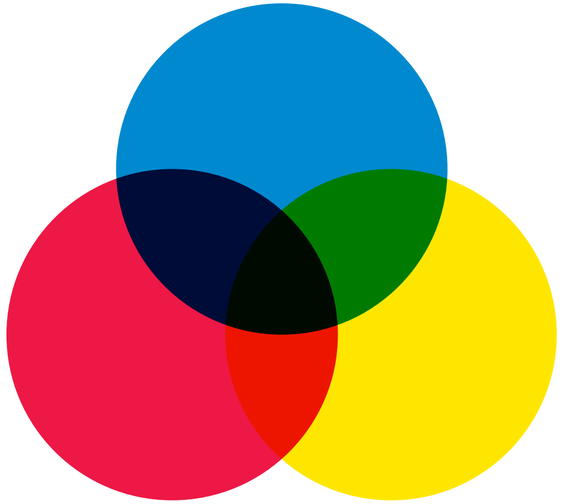
News Letter vol. 36
2020 春

春季特別企画
「なんのいろ？どんないろ？」

特集｜
あいちこどもクリエイティブクラブ（ACCC）

特集｜冬季特別企画
「ちずであそぶ」

子育てのおはなし 第36話
募集とお知らせ



愛知県児童総合センター

あいちこども クリエイティブクラブ（ACCC）

あいちこどもクリエイティブクラブ（ACCC）とは、いつもとはちょっと違ったあそびをとおして、創造性とコミュニケーションを深めていくクラブです。年間4回ほど行い、事前募集にて、いろいろな年齢の子どもがいっしょになって特別な活動をします。2019年度は「土どろ・ウォーキング」「あなをほる」「土を焼く」「あそび実験室『いろイロたんけん！』」を行いました。

今回は第3回目の「土を焼く」を紹介します。「土を焼く」は参加日程３日間、所要期間は1ヶ月程度かかる長期にわたるあそびのプログラムです。内容は土を始めいろいろなものを「焼く」ことを楽しみます。センターの近くにある愛知県陶磁美術館の学芸員佐藤一信さんにもご協力いただき、土や陶芸についてのお話をしてもらいながら行います。

1日目は「焼くもの」をつくります。つくるものは毎年変わりますが、今年はセンターの畑で使うブロックと、薪の代わりの燃料にする紙薪をつくりました。

2日目はつくったものを焼く日です。1ヶ月間じっくり乾燥させた「焼くもの」を自分たちで穴窯に詰めていきます。ただ詰めるだけではなく空気の通り方や、薪の配置なども考えます。

午後からは、じわりじわりと穴窯を温めている間に薪を割り、夕方から薪をくべて一気に火柱が出るほど力一杯扇ぎ、高温にしていきます。普段センターで遊べるのは17時までですが、この日は特別に19時まで体験します。

3日目は「焼いたもの」を窯から出して鑑賞します。混ぜる土や窯の温度、詰め方など様々な条件によって焼き上がりも違ってくることを、実際に触って・見て・音を聞いて感じます。

3日間遊ぶ中で、つくること、考えること、体を動かすこと、感じることなど、様々な体験をすることができました。

ACCCは内容により日数や対象年齢が変わってきますが、参加者の小学生からボランティアの高校生まで異年齢の子どもたちが、親やスタッフなどの大人たちと、普段生活している学校や家族・近所ではないところでする様々なあそびの体験は子ども達にとって新しい発見につながっているのかもしれません。
2020年度もACCCの活動を予定しています。ぜひたくさんの人に参加していただける事を楽しみにしています。

冬季特別企画

ちずであそぶ

文字よりも古いコミュニケーション手段といわれている地図。地図のカタチそのものの面白さや、地図を使ってさまざまなモノやコトを伝えたり、表したりしてみました。

令和元年度冬季特別企画として実施しました。
（2019/12/21－2020/1/19）

頭っぷ?!

頭の中の地図をつくります。粘土の塊をくり抜いて、好きや嫌いなど自分の頭の中にあるモノやコトをつくって、頭（粘土の塊）の中に戻します。

たてマップ

適当なカタチに切ったチラシなどの端材を折ったり、まるめたりして建物をつくり、大きな地図のテーブルに飾ります。

わたしのちず

近所の地図や、今の気持ち、カバンの中など、わたしの周りにあるさまざまなモノやコトを地図のように描きます。

どこだ?どこだ?

地図を手がかりに館内のあちこちをどこだ?どこだ?と場所を探して、最後に「どこか」へ辿り着きます。

道マグネット

7種類の道のカタチをしたマグネットを壁面に貼ってつなげて遊びます。

●たべるあそぶプログラム

あじ旅

地図を手がかりに、館内のあちこちにはられた「県章カード」を探して１枚選びます。手に入れた「県章カード」の県にちなんだ食材を使ってつくります。

●あつまるあそぶプログラム

音の地図

館内のさまざまな場所の音を、耳をすまして聞き取ります。聞き取った音の言葉のイメージに合わせて台紙に文字を描き、吹き出しのように切り抜いたものを大きな地図に貼って音の地図をつくります。

みんなの地図

家族やグループの全員の集合写真を撮影し、そのシルエットを型取ります。そこに雑誌などから自分の気になったものを切り抜いて貼り付けます。最後にシルエットを切り抜いて飾ります。

問取り図

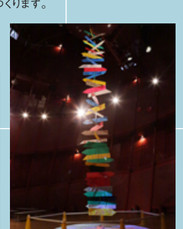
自分の住んでみたい家の間取り図を、雑誌などを切り抜いてつくります。

●特別プログラム

「ミチシルベ～あちこちどっち」

自分の住んでいるところや行きたいところの看板をつくり、その場所の方向を調べて、看板をロープにどんどんつけていきます。
会期中そのままチャレンジタワーに展示した「ミチシルベ」は、まるでクリスマスツリーのようでした。

※アーティストの福永照久さんが考えたあそびのプログラムです。
協力：大久保拓弥さん



子育てのおはなし

臨床心理士
後藤 かをり

第36話

いじめについて

春、新しいステージに進む子どもたちも多いことと思います。幼稚園や保育園、学校に上がる子どもたちの親御さんと話していると、口々に言われるのが「いじめにあわないか心配」ということです。新しい世界に胸をわくわくさせて飛び込んでいってほしい時に、このような心配をしなくてはならない――とても悲しくてつらいことです。
いじめを防ぐ・・・一番大切なことは、いじめる人をなくすることです。
子どもも大人も誰もが、誰かに意地悪をしたくなる気持ちが起きてくるときがあるような気がします。でも、自分のそういう気持ちに気づくことができれば「あっ、いけない！」と思いとどまったり、意地悪な自分を振り返ったりできます。
いじめをなくすにはもちろん、不公平や差別をなくしていくという大きな問題もあります。が、同時に、一人ひとりが「『あなたは大切な子（人）だ』と思われていると感じること」の重要さを忘れてはいけないと思います。それは、怒りや攻撃性のようないわゆる「マイナス―」の感情を、自ら受け入れることができる基礎となります。怒りや攻撃性をためず、どのように表現していくか。小さいころから、なにかモヤモヤする怒りや暴れたくなる心の嵐を、大切な大人と分かち合って一緒に、恐れなくていいよ、大丈夫だよと収めていく体験を重ねることが大切だと思います。

募集とお知らせ

とってたべるあそぶプログラム

○△□広場（そとのひろば）にある畑で月1回の土曜日、いろいろな植物を育て、できたものを収穫して食べるあそびです。いろいろな生き物と、太陽、空気、水、土といった自然とのつながりを感じます。

日時：月1回土曜日 11:00～13:00
場所：○△□広場
対象：5歳以上の子どもと大人
受付：10:30から1Fインフォメーションにて
（先着順）

お父さん応援プログラム「アナログカフェ」

毎月第3日曜日にオープンする「アナログカフェ」は、お父さんと子どもがボードゲームやカードゲームなど、アナログなあそびを楽しむことができる空間です。その間、お母さんはのんびり館内で過ごしてください。

日時：毎月第3日曜日
13:30～15:30 随時参加
場所：2F「コラボラボ」
対象：小学生とその父親

トコトコプログラム

「大人がたのしいと子どもはうれしい」を合言葉に、小さな子どもとお母さんやお父さんが“一緒に”楽しむプログラムです。見る、触るなどの感覚的なあそびを中心に、いろいろなあそびを親子で体験します。

3/4（水）　14:30～　つみきであそぶ
3/11（水）　14:30～　えのぐであそぶ
対象：1歳から3歳の未就園の子どもとその親
定員：15組程度
受付：プログラム開始30分前から
1Fインフォメーションにて
※受付開始時刻に参加希望者が定員以上の場合は抽選

「えのぐであそぶ」

移動児童館・ゆめたま号

愛知県児童総合センターのあそびとスタッフを「ゆめたま号」に乗せて、県内の児童館などに運び、現地のスタッフとともに地域の子ども・大人と遊ぶプログラムを提案します。

※令和2年度の案内と募集は県内市町村の児童福祉担当課を通じて4月頃お知らせする予定です。

※どのプログラムも参加費無料。ただし入場料が必要。（中学生以下無料。その他300円）

※プログラムは予告なく変更する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。